



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 セーレン株式会社
 コード番号 3569 URL <http://www.seiren.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 総務担当
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 川田 達男
 (氏名) 松村 重信

TEL 0776-35-2111

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	20,496	△3.5	925	△28.6	1,076	△35.4	664	△1.2
23年3月期第1四半期	21,247	19.4	1,295	—	1,666	140.6	672	50.8

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,157百万円 (49.6%) 23年3月期第1四半期 773百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	11.09	—
23年3月期第1四半期	11.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	86,282	46,434	53.2	766.67
23年3月期	86,206	45,590	52.3	752.63

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 45,943百万円 23年3月期 45,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,500	△8.1	1,200	△45.4	1,250	△49.8	650	△45.3	10.85
通期	86,500	0.2	4,100	8.5	4,100	2.3	2,400	10.5	40.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	64,633,646 株	23年3月期	64,633,646 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	4,708,088 株	23年3月期	4,708,011 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	59,925,616 株	23年3月期1Q	59,925,717 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3～4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における日本経済は、東日本大震災の甚大な被害に見舞われ、製造業におけるサプライチェーンの寸断や電力供給不安など、国内の経済活動に深刻な影響が及びました。加えて、長期化する原材料価格の高騰と円高のもと、企業環境は厳しい状況で推移しました。

当社グループにおきましては、凄まじい速度で変化する企業環境を好機と捉え、「新たな価値創造への挑戦！」をスローガンに「特命プロジェクト」を推進し、21世紀型の新事業創出に取り組んでおります。また、重点課題として企業体質の強化にも取り組み、徹底した経費削減や生産性向上ならびに業務の効率アップを行いました。さらにグループ関連会社についても、選択と集中を徹底し、事業の見直しによる経営資源の効率化を行いました。

当第1四半期の連結業績は、売上高204億96百万円(前年同期比3.5%減)、営業利益9億25百万円(同28.6%減)、経常利益10億76百万円(同35.4%減)、四半期純利益6億64百万円(同1.2%減)となりました。

なお、KBセーレン㈱における負ののれん償却額の計上が前年第1四半期で終了し、営業外収益の負ののれん償却額は前年同期比で2億76百万円減少しております。

〔セグメント別の業績概況〕

(オートモーティブ事業)

国内事業では、東日本大震災によるサプライチェーン寸断の影響を受け、自動車内装材の生産縮小を余儀なくされました。当第1四半期の後半にはサプライチェーン早期回復の兆しが見られましたが、売上高と利益は前年同期を大幅に下回りました。

海外事業においては、新興国の経済成長による需要増加を受けて、堅調に推移しました。

当事業の売上高は86億56百万円(前年同期比14.5%減)、営業利益3億34百万円(同65.9%減)となりました。

(ハイファッション事業)

長期化するデフレや節約志向の定着に加え、震災後の自粛ムードの広がり、消費の冷え込みは一層厳しい状況となりました。そのようななか、ビスコテックスのファッション事業では、差別化商品と時代ニーズにマッチした多品種・小ロット・省資源・在庫レスの商品提供サービスに対する市場評価が高まり、顧客開拓の進展とともに売上高を伸ばしました。KBセーレン㈱の特殊原系販売とともに、特殊原系から縫製までのグループ一貫機能を活かしたスポーツ事業も、前年同期比で増収・増益となりました。一方で、戦略事業の早期拡大を図るため、生産性を飛躍的に高める次世代ビスコテックス・システムの開発ならびに海外での衣料一貫生産体制の構築に対する先行費用が発生しました。

当事業の売上高は71億20百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益は2億76百万円(同24.1%減)となりました。

(エレクトロニクス事業)

新興国との技術格差の縮小や円高の影響を受け、市場での競争がより一層厳しさを増すなか、KBセーレン㈱の高性能導電系「ベルトロン®」は海外での売上を拡大し、前年同期比で大幅な増収・増益となりました。一方、電磁波シールド材「プラット®」やPDP用電磁波シールド材の繊維メッシュ商品については、低価格品の市場参入と円高の影響を受け、売上高を落としました。量産・販売を開始したフィルム・メッシュ商品については、生産効率アップにより収益改善が進みました。

当事業の売上高は16億66百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益は58百万円(前年同期は営業損失59百万円)となりました。

(インテリア・ハウジング事業)

住宅着工戸数は、依然として低い水準に留まりましたが、時代のニーズにマッチした省エネ対応商品の遮熱型透湿ルーフィング材「ルーフ ラミテクト® RX」ならびに遮熱型ハウスラップ材「ラミテクト® サーマ」を始めとする住宅資材は堅調に売上高を伸ばしました。住生活資材では、商品の差別化と震災後の需要増が相まって、大きく売上高を伸ばしました。また、事業全般において合理化をはじめとする原価低減を進め、前年同期比で大幅な増益となりました。

当事業の売上高は14億71百万円(前年同期比18.1%増)、営業利益は1億72百万円(同170.9%増)となりました。

(メディカル事業)

化粧品事業は、新商品投入とネット販売の強化により、震災直後の売上高減少をカバーしました。また、卓越した消臭機能を持つアンダーウェアシリーズ「DEOEST®」は、商品認知度の高まりとともに売上高を伸ばしています。セールスプロモーションを進め、さらなる拡販を目指します。メディカル資材では、KBセーレン㈱の伸縮性貼付剤基布および特殊伸縮性不織布「エспанシオーネ®」は順調に売上高を伸ばしました。人工血管基材は、客先の在庫調整にひととおりの目処が付き、前年同期比で増収・増益となりました。

当事業の売上高は13億23百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益は2億63百万円(同33.5%増)となりました。

(その他の事業)

いずれの事業も概ね堅調に推移し、事業全体で増収・増益となりました。

当事業の売上高は2億57百万円(前年同期比32.4%増)、営業利益は1億9百万円(同40.9%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、設備等の減価償却により有形固定資産が減少しましたが、原材料及び貯蔵品などの流動資産が増加し、前期末と比較して全体で75百万円増加の862億82百万円となりました。負債の部は、借入金が増加しましたが、支払手形及び買掛金の減少などにより7億69百万円減少し、398億47百万円となりました。純資産は、為替変動による為替換算調整勘定の増加などにより8億44百万円増加し、464億34百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益10億72百万円、減価償却費12億33百万円などの資金増加要因があり、全体では5億17百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより7億80百万円の支出となり、その結果、フリー・キャッシュ・フローは2億63百万円の減少となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどの支出がありましたが、借入金の純増により1億68百万円の収入となりました。これらの結果、現金及び現金同等物は前期末より13百万円増加し、当第1四半期末残高は48億44百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績予想につきまして、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災の影響が及ぼす当社への影響額の合理的な算定が困難であることから、平成23年3月期決算発表時点では未定としておりましたが、5月以降のサプライチェーンの急速な復旧を背景として、現時点で入手可能な情報に基づき業績予想を策定いたします。しかし一方では、米国の景気停滞や欧州の財政不安に加え、国内の電力不足や燃料・原材料価格の高騰、円高など、依然として先行きは不透明な状況です。

このような状況を踏まえ、第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、以下の通り開示いたします。

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想(平成23年4月1日~平成23年9月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
第2四半期(累計)	39,500	1,200	1,250	650	10円85銭
(ご参考)前第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	42,967	2,198	2,490	1,188	19円83銭

平成24年3月期通期連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通 期	86,500	4,100	4,100	2,400	40円5銭
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	86,331	3,779	4,007	2,171	36円23銭

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,938	5,024
受取手形及び売掛金	19,234	18,791
商品及び製品	6,877	6,896
仕掛品	1,809	1,963
原材料及び貯蔵品	2,609	2,893
その他	1,988	2,265
貸倒引当金	△10	△13
流動資産合計	37,446	37,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,193	22,035
機械装置及び運搬具(純額)	10,216	9,933
工具、器具及び備品(純額)	372	383
土地	9,475	9,458
その他(純額)	376	575
有形固定資産合計	42,635	42,387
無形固定資産		
投資その他の資産	562	533
その他	5,609	5,593
貸倒引当金	△47	△52
投資その他の資産合計	5,562	5,540
固定資産合計	48,760	48,461
資産合計	86,206	86,282
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,962	11,517
短期借入金	5,623	5,742
未払法人税等	1,069	816
賞与引当金	986	357
その他	3,317	3,487
流動負債合計	22,960	21,921
固定負債		
長期借入金	10,928	11,298
役員退職慰労引当金	215	174
退職給付引当金	5,618	5,559
負ののれん	198	188
その他	694	704
固定負債合計	17,656	17,926
負債合計	40,616	39,847

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,520	17,520
資本剰余金	16,838	16,838
利益剰余金	17,569	17,935
自己株式	△3,928	△3,928
株主資本合計	47,999	48,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181	148
為替換算調整勘定	△3,079	△2,570
その他の包括利益累計額合計	△2,897	△2,421
少数株主持分	488	491
純資産合計	45,590	46,434
負債純資産合計	86,206	86,282

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	21,247	20,496
売上原価	16,327	15,756
売上総利益	4,920	4,740
販売費及び一般管理費	3,624	3,815
営業利益	1,295	925
営業外収益		
受取利息	20	38
受取配当金	25	31
負ののれん償却額	287	10
為替差益	—	10
雇用調整助成金	48	47
その他	97	74
営業外収益合計	478	214
営業外費用		
支払利息	65	48
為替差損	35	—
その他	7	14
営業外費用合計	108	62
経常利益	1,666	1,076
特別利益		
固定資産売却益	0	4
その他	3	—
特別利益合計	3	4
特別損失		
固定資産処分損	16	8
事業整理損	148	—
その他	121	0
特別損失合計	286	8
税金等調整前四半期純利益	1,383	1,072
法人税等	719	399
少数株主損益調整前四半期純利益	663	672
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△9	8
四半期純利益	672	664

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	663	672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△165	△33
為替換算調整勘定	276	518
その他の包括利益合計	110	485
四半期包括利益	773	1,157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	775	1,140
少数株主に係る四半期包括利益	△1	17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,383	1,072
減価償却費	1,468	1,233
負ののれん償却額	△287	△10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	8
賞与引当金の増減額(△は減少)	△595	△629
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△23	△59
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△22	△40
受取利息及び受取配当金	△46	△70
支払利息	65	48
為替差損益(△は益)	2	△15
事業整理損失	148	—
固定資産処分損益(△は益)	16	3
売上債権の増減額(△は増加)	224	541
たな卸資産の増減額(△は増加)	△283	△378
仕入債務の増減額(△は減少)	20	△477
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5	27
その他	617	100
小計	2,679	1,354
利息及び配当金の受取額	46	70
利息の支払額	△80	△57
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△533	△850
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,111	517
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△495	△717
有形固定資産の売却による収入	2	36
投資有価証券の取得による支出	△298	△6
その他	△272	△92
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,064	△780
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	423	293
長期借入れによる収入	—	1,500
長期借入金の返済による支出	△1,153	△1,302
配当金の支払額	△299	△299
少数株主への配当金の支払額	△12	△13
その他	△8	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,051	168
現金及び現金同等物に係る換算差額	95	107
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	91	13
現金及び現金同等物の期首残高	3,836	4,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,927	4,844

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント(注)1						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	オートモ ーティブ	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	インテリ ア・ハウ ジング	メディカ ル	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	10,130	6,784	1,639	1,245	1,252	21,053	194	21,247	—	21,247
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	4	116	4	—	126	271	398	△398	—
計	10,130	6,789	1,756	1,250	1,252	21,179	466	21,645	△398	21,247
セグメント利益又は損 失(△)	979	363	△59	63	197	1,545	78	1,623	△327	1,295

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント(注)1						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	オートモ ーティブ	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	インテリ ア・ハウ ジング	メディカ ル	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	8,656	7,120	1,666	1,471	1,323	20,239	257	20,496	—	20,496
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	3	155	—	—	160	208	368	△368	—
計	8,657	7,124	1,822	1,471	1,323	20,399	466	20,865	△368	20,496
セグメント利益	334	276	58	172	263	1,105	109	1,215	△290	925

(注) 1. 各報告セグメント区分の主な製品等は下記のとおりであります。

- (1) オートモーティブ……………自動車内装材、カーシート、エアバッグ
- (2) ハイファッション……………各種衣料製品、衣料用繊維加工
- (3) エレクトロニクス……………電磁波シールド材、クリーンルームウェア、電子機器、工業用製品
- (4) インテリア・ハウジング…建築用資材、インテリア用資材
- (5) メディカル……………化粧品、浄水器及びフィルター、医療用製品

なお、「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発及び販売、保険代理業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用(前第1四半期連結累計期間329百万円、当第1四半期連結累計期間313百万円)が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門などの管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。